

# 地域おこし協力隊通信

発行：令和4年12月22日

ゆく年くる年 仮装で振り返る1年



デイサービスでは、利用者の皆さんに楽しんでいただけるよう、季節ごとのイベントを行っています。昨年12月のクリスマスの時に職員が仮装して寸劇を披露したところ、利用者さんは大笑い。それに味をしめ、利用者さんが笑ってくれるならばと行事のたびに仮装をするようになりました。仮装して派手にやることで利用者さんも分かりやすく、笑って楽しんでもらえていると思います。

毎回顔は「ポスカ」を使って塗っていますが、肌が荒れますので白塗りをされる際にはフェイスペインティング用の塗料を使うことをおすすめします。来年もどうぞお楽しみに。  
(樋口雅紀)

今年は6人が隊員に加わりました  
現在17人の隊員が活動しています

## 活動中の隊員

望月敬之、仲野宏樹、清水岳人、中平正士  
西山寿恵、廣瀬太一、宮地功孝、樋口雅紀、小林寿彦  
山崎慶太、白川裕史、伊東真由、鈴木梨奈、前夷久志  
小林かほみ、常山正吾

吉岡漠さんが  
卒業されました

令和3年4月から地域おこし協力隊として活動していた吉岡漠さん（一般社団法人Y・T・O工芸所属）が、11月末をもって卒業されました。今後は海外に活動の拠点を移されるとのことです。

## 双鴨の2人からCDの売上金を丹波山村に寄附していただきました



アコースティックユニット「双鴨」の仲野宏樹さん（地域おこし協力隊）と酒井智生さんが11月28日に丹波山村役場を訪れ、10月にリリースしたCD100枚分の売上金10万円を村に寄附してくださいました。

双鴨のお二人からいただいた寄附金は、村で行ったクラウドファンディングや、地域おこし協力隊の「たばやまプロジェクト」で設置した募金箱への寄附金などと一緒に、村内の事業者の皆さんへお届けします。

## 灯里が朝日新聞で紹介されました！

12月3日付の朝日新聞で灯里の記事が紹介されました。掲載紙を灯里の店頭と役場に置いてありますので、ぜひご覧ください。

薪ストーブを焚いてお待ちしていますので、ぜひ温まりにいらしてください。（西山寿恵）



◀朝日新聞デジタル版でも読めます



## 村内イベントのPRチラシ作成を担当しました

11月23・24日に開かれたファミリー移住検討者向け「たばやま村見学会」や、年明け1月7日(土)のお松曳に合わせて開催予定の出逢いイベントのチラシをデザインしました。

コミュニティサロンの管理をしながら、丹波山村への移住に関する情報発信や、相談、案内も担当しています。（中平正士）

令和5年度中に、地域おこし協力隊インターンの受け入れにご協力いただける事業者を募集します。地域おこし協力隊インターンは、2週間から最長3カ月の間地域おこし活動を体験してもらい、活動終了後、地域おこし協力隊としての着任につなげてもらうための制度です。受け入れを希望する方は、総務課・地域おこし協力隊担当（TEL：0428-88-0211）までご連絡ください。